



CRESSI

SINCE 1946

NEPTO

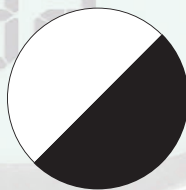
取扱説明書

長い耐用年数



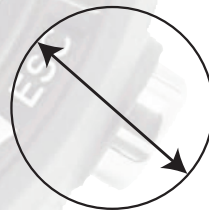
バッテリー

高いコントラスト

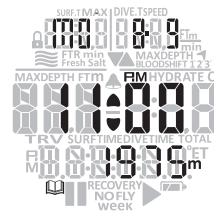


表示画面

ビッグサイズ



クイックアクセス



メニュー

イタリア製

CRESSI ELETRONICA

このたび、NEPTOダイブコンピューターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。これは、高精度で、様々な機能を備え、使用中の安全性、効率および信頼性を最大限に保証できるデバイスです。

主な技術的特徴

腕時計

- 12/24時間形式、分と秒を表示
- カレンダーを表示
- 精密ストップウォッチ
- タイマー
- 潮位表示
- 2回設定可能
- 目覚まし時計設定可能

ダイブコンピューター

フリーダイビング機能

- 当社の実験室でフリーダイビングのために特に開発されたCressi独自のアルゴリズム
- 時間と深さに応じてアラームパラメータを設定できる
- 視覚的および聴覚的アラーム
- 聴覚的アラームは有効または無効にできる
- 淡水/塩水環境を設定できる
- ダイビングプランに応じてサンプリング時間を設定できる
- ユーザーは、測定単位をメートル法(メートル、°C)とインペリアル法(フィート、°F)の間で切り替え可能
- 一般的なデータとダイビングプラン(選択可能)のPC / Mac / iOS / Androidインターフェースを装備

一般的な警告と安全規則

重要: 取扱説明書をお読みください!

安全規則に関する部分も含め、この取扱説明書をよくお読みください。使用する前に、デバイスの使用方法、機能および制限を完全に理解していることを確保してください。取扱説明書全体をお読みになるまで、このデバイスを使用しないでください。

重要: 必ずこのデバイスをダイビングの補助装置として使用してください、ダイビングウォッチの代わりにこのデバイスを使用しないでください。

△危険: ダイブコンピューターを使用しても、減圧症(脳卒中)のリスクを完全に回避することができないので、ご注意ください。ダイバーの体調は毎日変化するため、ダイブコンピューターは、ダイバーの体調を考慮に入れることはできません。したがって、ダイビングの前に都度、全面的な身体検査を行うことをお勧めします。また、ダイビングの前に都度、自分の体調を評価する必要があります。最も重要なのは、減圧症のリスクが高まるかどうかは、冷水へのばく露(水温10°C以下)、体調不良、複数回の連続潜水または数日間の連続潜水、疲労状態、アルコール、麻薬または薬物の使用または嫌悪感、または脱水症状を示すことなど、様々な要因に依存します。これらの状況および自分の命を危険にさらす可能性のあるその他の状況を避けてください。すべてのダイバーは、自分の安全に責任を負わなければなりません。

重要:このデバイスを使用できるのは認定ダイバーのみです。ダイブコンピューターは、適切なダイビングトレーニングを代わるものではありません。ダイビング中の安全を確保できるのは、十分なトレーニングであることを忘れないでください。

重要:CRESSIのNEPTOダイブコンピューターは、レクリエーションダイビングにのみ使用できます。このデバイス、業務またはプロのダイビングには適していません、このような活動の潜水時間がより長く、潜水の深さもより深く、減圧症のリスクが高まります。

重要:ダイブコンピューターを使用する前に、バッテリーの待機時間および表示画面の指示を検査してください。不明瞭、ぼやけている、またはバッテリー低下のアイコンが表示されている場合は、ダイビングに使用しないでください。

△危険:フライの前、画面に「フライ禁止」の指示が表示するのを待ってから、オフにしてください。

重要:このデバイスは1人専用です。このデバイスは、ダイビング活動または一連の繰り返しダイビング活動でこのデバイスを使用した者の情報のみ表示します。

警告:ダイビングの前に、デバイスのパラメータ設定を確認してください。

重要:リスクの高いダイビング活動はすべて避けてください、潜在的危険があり、減圧症のリスクが高くなる恐れがあります。

フリーダイビング

警告:フリーダイビングの安全性は、その理論的および実践的知識を慎重かつうまく利用するダイバーの理性的能力に依存します。ダイビング活動によるリスクに対して十分に準備できた者に対して、このデバイスをフリーダイビングの補助ツールとして使うしかできません。したがって、フリーダイビング技術の理論と実践、およびダイビング活動から生じるリスクを考えて、訓練を受けたダイバーのみがこのデバイスを使用できます。

△危険:ダイブコンピューターは、失神やTARAVANAのリスクを排除することはできません、ダイブコンピューターにはこの機能を備えていないのでご注意ください。ダイブコンピューターは、潜水時間、水面時間、潜水深度のみを表示します。このデバイスがダイバーに提供する情報はデータのみであり、人間の審査と処理により安全情報になることができます。したがって、しっかりとした包括的な理論的準備を行うことをお勧めします。

警告:このデバイスを使用できるのは認定ダイバーのみです。ダイブコンピューターは、適切なダイビングトレーニングを代わるものではありません。ダイビング中の安全を確保するために、十分なトレーニングを受けなければならない。

警告:CRESSIのNEPTOダイブコンピューターは、娯楽目的でのみ使用し、業務に使用できません。

△危険:フライまたは海拔の高い地域に行く48時間以内に、一定速度で要求の厳しいフリーダイビング活動を実行しないことが非常に重要です。

警告:ディープフリーダイビングは、危険なトレーニングです、その安全性を確保するには、多くの実践的かつ理論的準備が必要です。資格のあるダイビングスクールが発行する資格証明書を取得することが重要です。ぜひとも、ディープフリーダイビング訓練を行う際に、常に自分の限界を完全に把握し、これらの限界内で良好な体調を維持できるようにすることをお勧めします。一人でダイビングするのではなく、必要な時にお手伝いできるパートナーと一緒にダイビングすることをお勧めします。

警告:現在では、TARAVANAの発生原因を完全に理解するための科学文献はありません。これは、数時間（水面での短時間の滞留のみ）の一定の速度でのディープフリーダイビングを避けることが健康には非常に重要であることを意味します。体調が悪い場合は、ダイビングをせず、きちんと水分補給を行い、適切なエネルギー摂取を維持してください。

注:フライの際には、加圧されたキャビンにデバイスを入れて持ち運んでください。

CRESSIIは、デバイスの構成品の継続的な技術更新に従って、事前の通知なしにデバイスを変更する権利を留保します。

前書き

この取扱説明書を注意深くお読みになり、その内容を正確に理解することが非常に重要です。そうでなければ、健康を危険にさらす可能性があります。この取扱説明書の目的は、このデバイスを使用してダイビングする前に、ダイブコンピューターのすべての機能を完全に理解できるようにすることです。

コンピューター制御

NEPTOダイブコンピューターはどのように機能しますか？

ダイブコンピューターの機能

NEPTOには、直観的な円形メニューを備え、選択できる複数のレベルがあります。

ボタンの機能

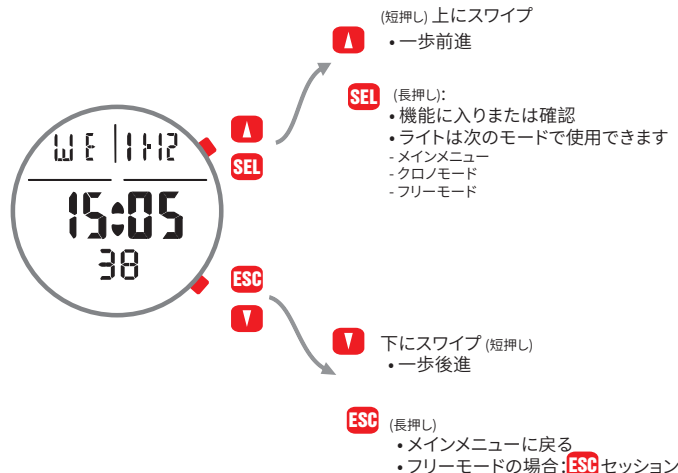
上ボタン ▲ / SEL: このボタンを短押しすると、メニューがスクロールし、下へ増分が調整されます。このボタンを長押しして各メニューに入り、選択を確定します。

時間、ストップウォッチまたは潜水機能を長押しすると、このボタンのバックライトが点灯されます。

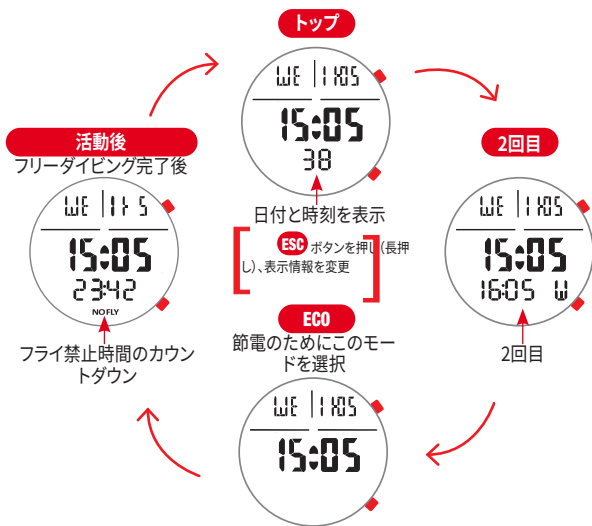
下ボタン ▼ / ESC: このボタンを短押しすると、メニューがスクロールし、下へ増分が調整されます。

このボタンを長押しすると、各メニューが終了します。

潜水期間中、水面でこのボタンを長押しすると、フリーダイビングセッションが終了します。



ウォッチフェイス

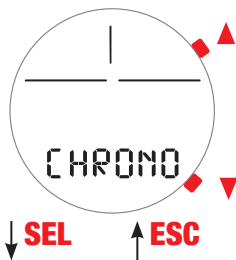


メインメニュー

Topメニューから、上▲/下▼ボタンを押し、メインメニューをスクロールします



クロノ



この画面で、**SEL** を押し、クロノ機能に入ります



上▲/下▼ボタンを押して、ストップウォッチを開始または停止します。
ストップウォッチの実行中に下▼ボタンを押すと、スプリットタイムを読み取ることができます。この場合、左上の時刻は「LAP」になり、表示画面の中央線で中間タイムを読み取ることができます。

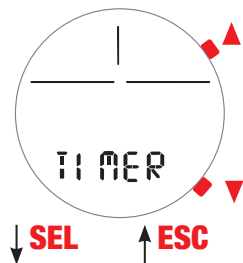
ESC ボタンを押し、LAP機能を終了します。
「下」ボタンを押し(ストップウォッチ停止状態中)、ストップウォッチをリセットします。

表示画面の第一行に現在の時間とストップウォッチの時間が表示されます。
中央線でストップウォッチの分間、秒と充分の一秒が表示されます。
10分の数は、最初の10分間にもみ表示されます。
ストップウォッチは24時間後に自動的にリセットされます。

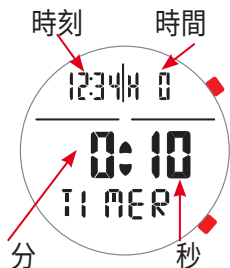
ESC ボタンを押し、このモードを終了します。

注:ストップウォッチの実行中にストップウォッチ機能を終了すると、クロノ機能はバックグラウンドで継続実行します。

タイマー(カウントダウン)



この画面で、「SEL」を押してタイマー機能に入ります。



この機能を使用すると、カウントダウンを設定できます。
このタイマーは、1" から23h59' 59" までの任意の値に設定できます。

タイマー設定

タイマー画面で「SEL」を押します。
「上▲/下▼」ボタンを押し、秒、分または時刻に移動します。選択された単位は点滅します。
「SEL」を押し、「上▲/下▼」ボタンを押してパラメーターを変更します。
「SEL」を確認提示音が聞こえるまで押し続けます。
「ESC」ボタンを押し、この機能を終了します。

注:タイマーの実行中にタイマー機能を終了すると、タイマー機能はバックグラウンドで継続実行します。

タイマーの開始

「上▲/下▼」ボタンを押し、タイマーを開始/停止します。タイマーを停止して「下」ボタンを押すと、タイマーは始点に戻ります。
カウントダウン終了時(タイマーがゼロを表示)に目覚まし時計が3回鳴ります。

デュアルタイマー (DUAL-T)

この機能は、特にトレーニングに使用されます。たとえば、反復トレーニングの休憩時間中にこの機能を使用できます。

PHASE1とPHASE2の2つのタイマーが含まれており、この2つのタイマーは交互に実行されます。各タイマーは、00' :01" から59' :59" までの任意の時間に設定できます。

この2つのタイマーは、最大99回 (00~99) 繰り返すことができます。「上▲」または「下▼」を押して計時します

次の手順でデュアルタイマーを設定します。

「DUAL-T」メニューの **SEL** ボタンを押し、そして「上▲」/「下▼」ボタンを押して次の機能をスクロールします。

タイマー-phase 1 (PH-1)秒

タイマー-phase 1 (PH-1)分

タイマー-phase 2 (PH-2)秒

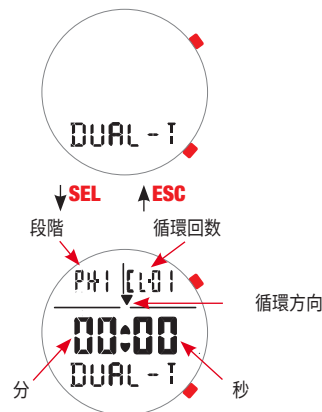
タイマー-phase 2 (PH-2)分

循環回数を設定します (00-99の間で選択)

サイクルカウントの方向「上▲/下▼」

を設定します。

SEL を押してサブメニューに入り、「上▲/下▼」ボタンを押して値を調整します。
ESC を押し、デュアルタイマーの設定を終了します。



デュアルタイマーをデュアルタイマーを開始した後、「上▲/下▼」ボタンを押し、計時を開始または停止します。



リセット ▼

ダイブコンピューターは、段階を変えるたびに、3つの短い音信号が鳴ります。サイクルカウントの終わりに、3つの長い音信号が鳴ります。

モード設定 (MODE-S)

この機能で使用するモードを選択できます。

「SEL」ボタンを押して、モード設定メニューからこの機能に入ります。

最初の行に「設定」が表示され、現在選択されているモードが表示されます(点滅)。

「上▲/下▼」ボタンを押してスクロールします、フリーダイビング時に「フリーモード」を選択し、または「オフモード」を選択すると、圧力センサーが無効になります。

例えば、プールでシュノーケリングをしている時、またはダイブコンピューターにこのダイビングを記録したくない場合は、オフモードを使用します。オフモードは、バッテリーの耐用年数を伸ばすのにも役立ちます。

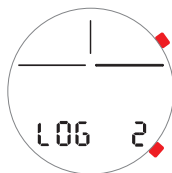
「SEL」を押し、確認提示音が聞こえるまで、希望のモードを確認します。

「ESC」ボタンを押し、メインメニューに戻ります。

警告:ダイブコンピューターがオフモードの場合は、ダイビングの前に都度、ロックを解除することをお勧めします。安全のために、ダイビング中でもコンピューターはロックされ、水面に戻ってダイブコンピューターを水面から持ち上げた場合にのみロックが解除されます。ロックを解除すると、ダイブコンピューターはこの前に水中で過ごした時間を計算しません。したがって、ロックを解除した直後にこの前のダイビング活動を継続しないことをお勧めします。

ログ

この画面で、「SEL」を長押ししてダイビングログに入ります。



↓SEL ↑ESC

NEPTOのメモリは、2秒のフレームレートで最大32時間のファイルを保存できます。

「上▲/下▼」ボタンを押すと、日付に応じて最新のものから古いものまでのフリーダイビングセッションを見ることができます。

記録可能なセッションの数を超えると、最も古いセッションが徐々に削除されません。

注:ダイビングログはリセットできません。



最初の行には、ダイビングの日、月、年が表示されます。

中間の行には、開始時刻が表示されます。

「SEL」ボタンを押すと、選択したフリーダイビングセッションデータが表示されます。

セッションメニュー:

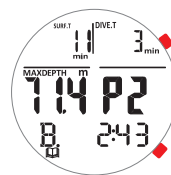
セッションメニューは2つのページで構成されます。

ページ1の内容は次のとおりです。



- 総セッション時間、「SESS」(ダイビング分間+水面での分間)
- 潜水中に到達した最大深度「最大深度」(m / FT)
- 表示しているページ番号「P」(1/2)
- セッション中の総潜水回数、「D」(潜水)
- セッション中に到達した最低温度(°C / °F)

ページ2の内容は次のとおりです。



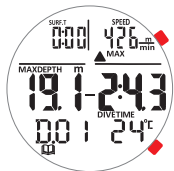
- 水面での合計セッション時間「水面時間」(「SURF.T」)
- ダイビングの合計セッション時間「潜水時間」(「DIVE.T」)
- このセッションでの最高の潜水状態に到達するための深さと時間

ダイビングメニュー

ダイビングメニュー上の「SEL」を押してセッションを選択します。

「上▲/下▼」ボタンを押して個人のダイビング記録を見ます。

画面に次の内容が表示されます。



- 最後のダイビングから今回のダイビングまでの間に水面で滞留する時間(水面時間) (SURF.T)
- 潜水の最大速度上▲/下▼、交互に表示されます(上または下の三角形、m/minまたはft/min)
- 最大潜水深度(最大深度m / ft)
- 潜水時間(潜水時間)
- 選択した潜水回数(D.O1)

「上▲/下▼」ボタンを短押しし、このセッションのダイビングをスクロールします。

「ESC」を押し、セッションメニューに戻ります。

「ESC」ボタンを再度押し、またはESCを長押しして(3秒間)、メインメニューに戻ります。

ダイビング設定:ダイビングパラメーター、フリーダイビングを設定

モード設定 (MODE-S) メニューを使用してフリーモードに設定した後、ダイビング設定 (DIVE-S) メニューに入ることにより、アラームと通知を有効または編集することができます。

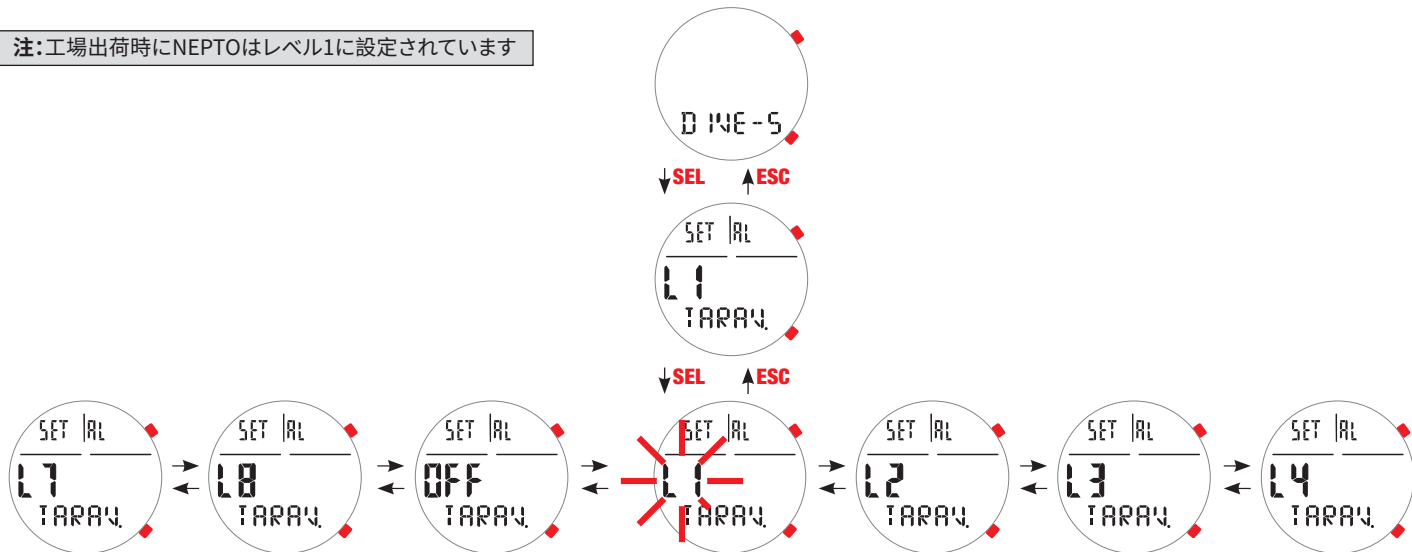
ダイビング設定画面で、**SEL** を押してフリーメニューの設定に入ります。使用可能な設定は次のとおりです。

Taravana保護アルゴリズム (TARAV) を調整し、ダイビングウォームアップ (BLOODSH.)、水面時間警告 (SURF-T)、深度アラーム (深度AL1、AL2、AL3、AL4、AL5)、潜水時間警告 (DIVE-T)、深度間隔アラーム (STEP)、水分補給通知 (HYD)、水塩分調整 (WATR)、ログサンプリング頻度 (LOG.-SAM.) を設定します。

Taravana保護グレード (TARAV.)

Taravana保護グレードを設定した後、Taravanaのリスクを減らすために、推奨される回復時間を変更します。この係数は、L1-L8の8つの異なるレベルに設定できます。また、係数を「オフ」に設定することもできます。この場合、ダイブコンピューターは、回復時間に関する提案を提供しません。

注:工場出荷時にNEPTOはレベル1に設定されています



「**SEL**」を押してこの機能に入り、「上▲/下▼」ボタンを押して希望の保護グレードを設定し、**SEL**を押して確認します。

そして、**ESC**を押してこの機能を終了します。

体調と心理状態に応じて、保護係数を設定してください。

NEPTOアルゴリズムおよびTaravanaリスク削減

ダイビングタンクを使用したダイビング、フリーダイビングのように、特に継続的な運動後、窒素が身体組織に蓄積しているので、ダイビング減圧症に繋がる可能性があります。

この現象は、ポリネシアのダイビングパールダイバーがこの問題を経験した1940年代から知られています。その後、この病理状態は、ポリネシア語で「狂ったように倒れる」ことを意味するTaravanaと名付けられました。

特に激しい釣り/フリーダイビング活動後(2時間以上続く)、2回のダイビング間の回復時間は短いである場合、特にこの症状のリスクが高まります。その他の理由としては、高海拔地域でのダイビング、脱水状態でのダイビングなどがあります。

これを防ぐために、フリーダイバーは、2回のダイビングの間で少なくとも2倍のフリーダイビング時間を空け、体の過剰な窒素を放出できるように水面に滞留する必要があります。

CRESSIのNEPTOダイブコンピューター/コンピューターで使用されるアルゴリズムは、これらの要素を考慮に入れています。ダイビング活動後、次のダイビング活動を開始する前に推奨される回復時間が表示されます。

ダイビング運動後、NEPTOダイブコンピューターは、回復時間を計算します。この計算では、潜水時間、到達深度、潜水状況および水温を考慮しています。

表示画面の一番下の行には、カウントダウンおよび点滅する「回復」が表示し、Taravanaのリスクを回避するために水面で回復するのにどれだけの時間が残っているかをフリーダイバーに伝えます。

フリーダイバーが計時終了前に再び潜水を開始し、表示された回復時間に違反した場合は、TRV(時間比違反)アイコンが表示され、回復時間に違反したことを意味します。

この場合、残りの回復時間は次のダイビング活動の回復時間に追加されます。これはダイブコンピューターログにも表示されます。このアルゴリズムは8つのレベルに設定でき、安定性は、レベルごとに増加します。

潜水時間と回復時間の比率は下の表に示します。

レベル—潜水時間の比率:回復時間

L1	-	1: ≥ 2.0
L2	-	1: ≥ 2.4
L3	-	1: ≥ 2.8
L4	-	1: ≥ 3.2
L5	-	1: ≥ 3.6
L6	-	1: ≥ 4.0
L7	-	1: ≥ 4.5
L8	-	1: ≥ 5.0

警告: CRESSIのNEPTOダイブコンピューターは、娯楽目的でのみ使用され、業務用ではありません。フリーダイビングでは完全に排除できないリスクが多いため、CRESSIのNEPTOダイブコンピューターは、フリーダイビング中にEDEMA/TARAVANAなどの神経疾患が発生しないことを保証できません。CRESSIのNEPTOダイブコンピューターは、ダイバーがより良くダイビングするのに役立つ関連情報のみを提供します。

ダイビングウォームアップ(BLOODSH)

ある程度の深さまでダイビングする時、この機能は肺水腫のリスクを減らすために非常に役立ちます。

多くの研究者は、喀血の根本的な原因は肺の毛細血管の圧力上昇であると考えています。

浅瀬から始めて、一連のステップバイステップのダイビングは、このような神経疾患の発症を減らすための最適方法であるようです。

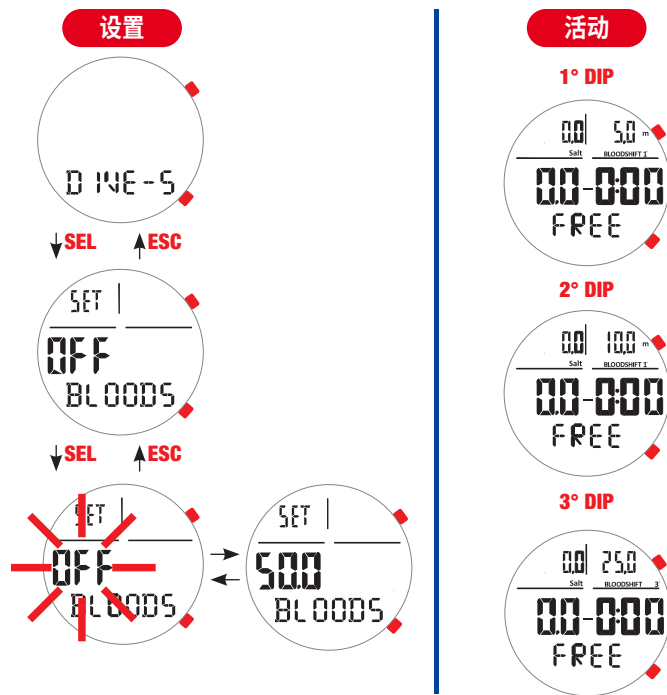
深さは30m (98 ft)から120m (393 ft)まで設定できます、5m (16 ft)の単位で増加します。ダイブコンピューターの工場出荷時設定は「オフ」です。

例えば、この機能が50m (164 ft)に設定されている場合、ダイブコンピューターに「BLOODSHIFT」アイコンが表示され、3回のダイビングウォームアップも表示します。

1回目(1° BLOODSHIFT) ~-5m (-16 ft)

2回目(2° BLOODSHIFT) ~-10m (-33 ft)

3回目(3° BLOODSHIFT) ~-25m (82 ft) 設定した深さの半分。



SEL ボタンを押し、この機能に入り、そして、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定します。

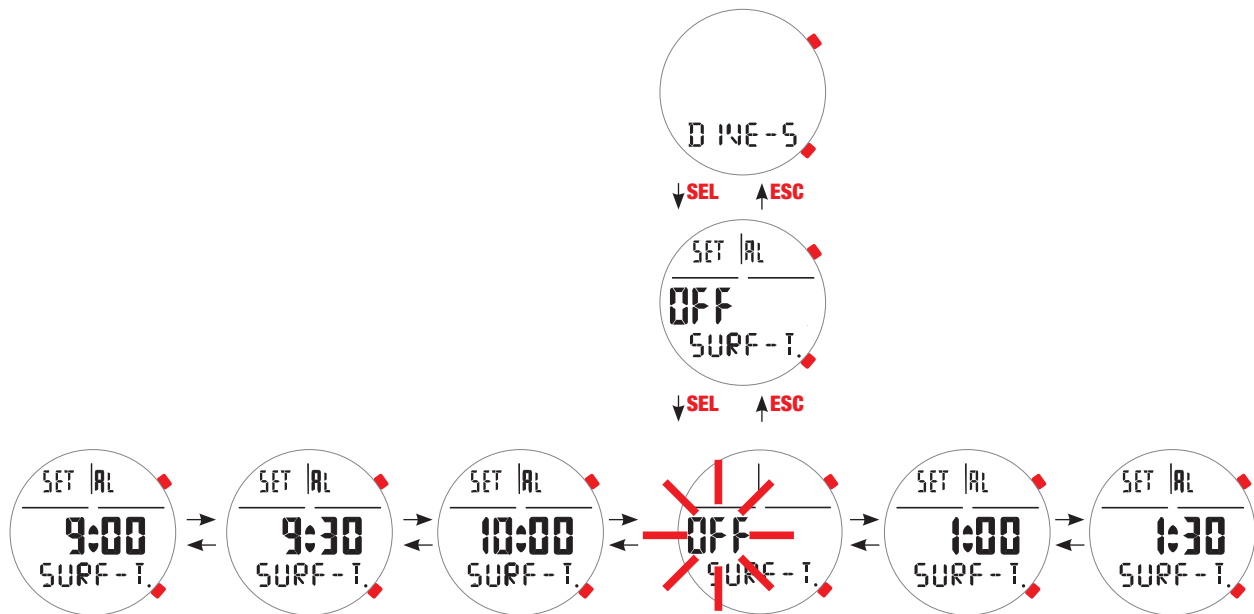
最後に **SEL** を押し確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

水面滞留時間アラーム (SURF-T)

このアラームを有効にした後、この前に設定された時間を超えると、NEPTOはダイバーに警告するために3回のピープ音を鳴らし、水面での滞留時間が設定された時間を超えたことを警告し、画面に表示する水面滞留時間が点滅し始めます。

この設定は、超過時間に応じて、1' 00" から10' 00" まで30" の単位で設定できます。



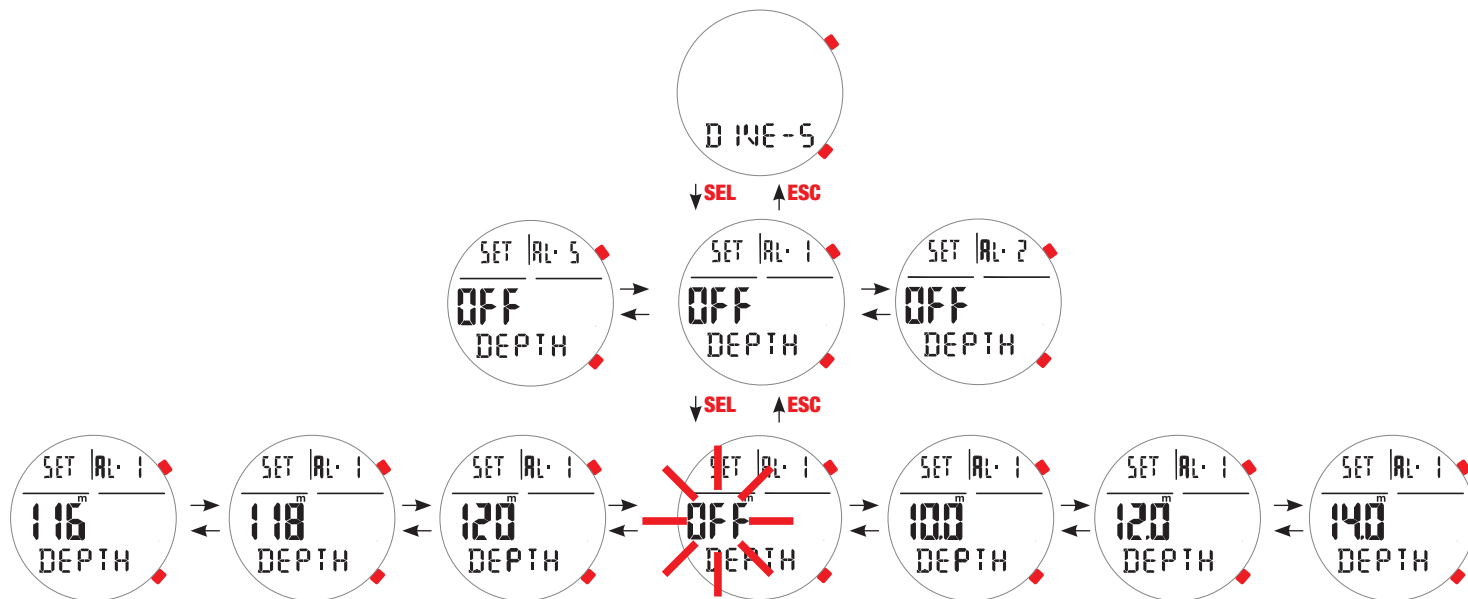
SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に**SEL** を押して確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

深度アラーム(深度)

深度アラームがオンになった後、ダイバーの所在位置がこの前に設定した深さを超えると、NEPTOは3回のピープ音を鳴らします。CRESSIのNEPTOはAL1、AL2、AL3、AL4、AL5の5つの異なる独立したアラームがあります。

深さは、10 m. (33 ft.)から120 m. (394 ft.)まで、2メートル(6 ft)の単位で設定できます。

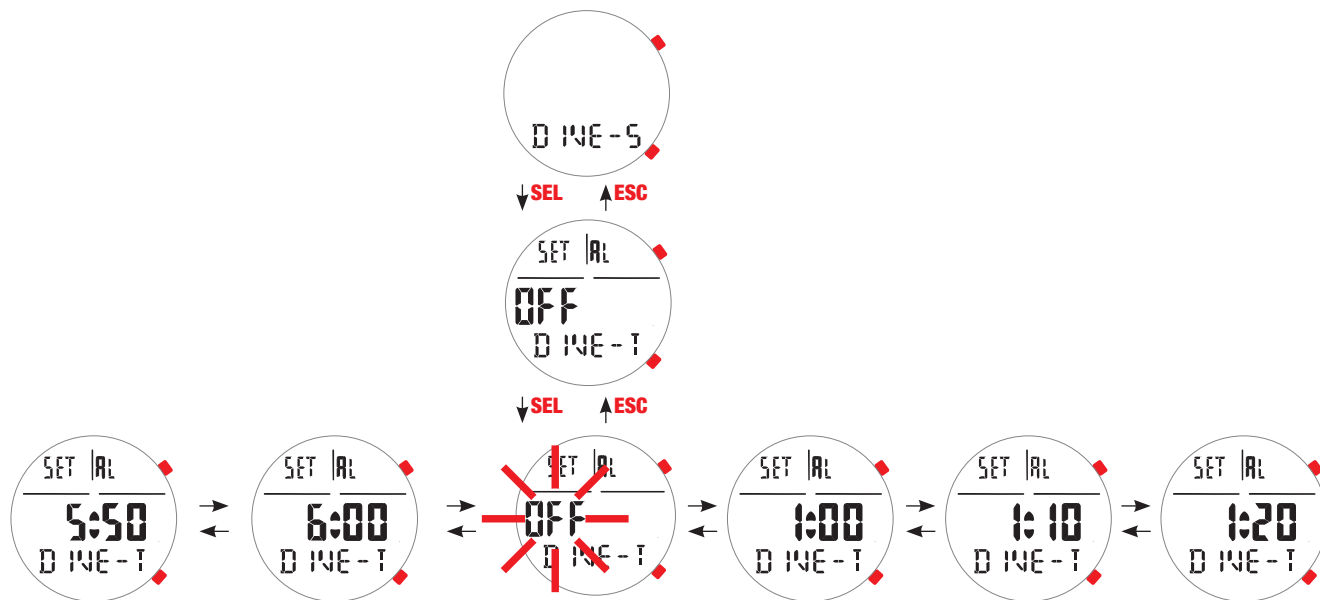


SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に**SEL**を押し確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

潜水時間アラーム (DIVE-T)

潜水時間アラームがオンになった後、この前に設置した時間が経過すると、NEPTOはダイバーに潜水時間が経過したことを警告するために3回のピープ音を鳴らし、表示画面の時間が点滅し始めます。潜水時間は0' 10" から6' 00" まで0' 10" の単位で設定できます。

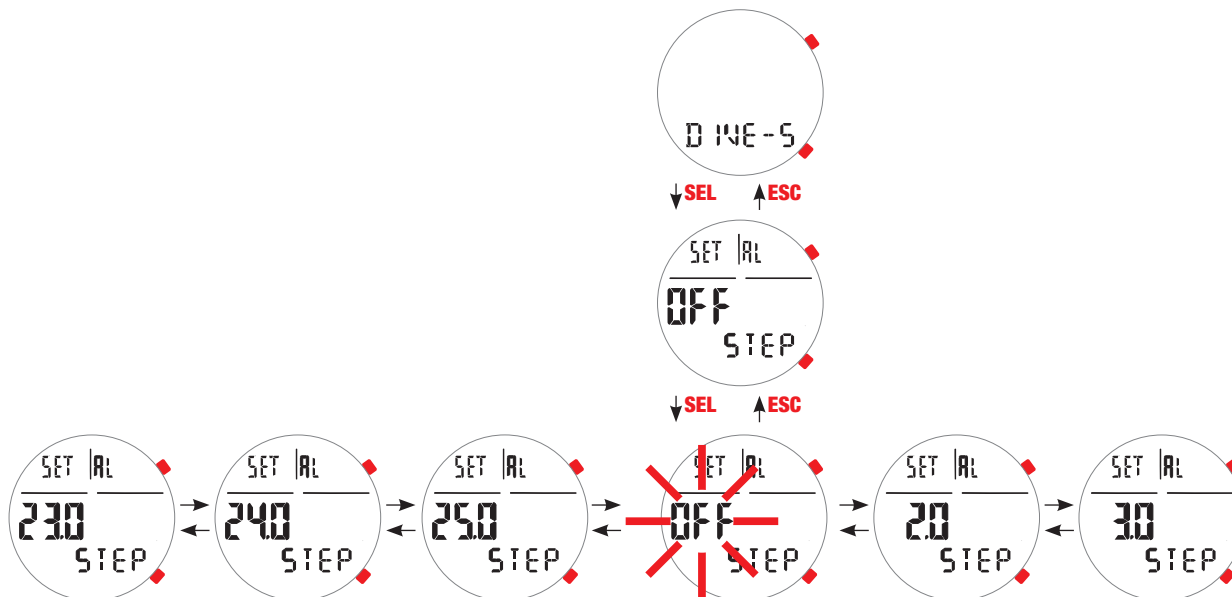


SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に**SEL**を押し確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

深度間隔アラーム (STEP)

ダイバーが所定の深度間隔を超えるたびに、アラームを有効にすることができます。設定値とその倍数を超えると、NEPTOは警報音を鳴らします。その間隔は、2 m. (6 ft.) から25 m. (82 ft.) まで1m (3 ft.)の単位で設定できます。



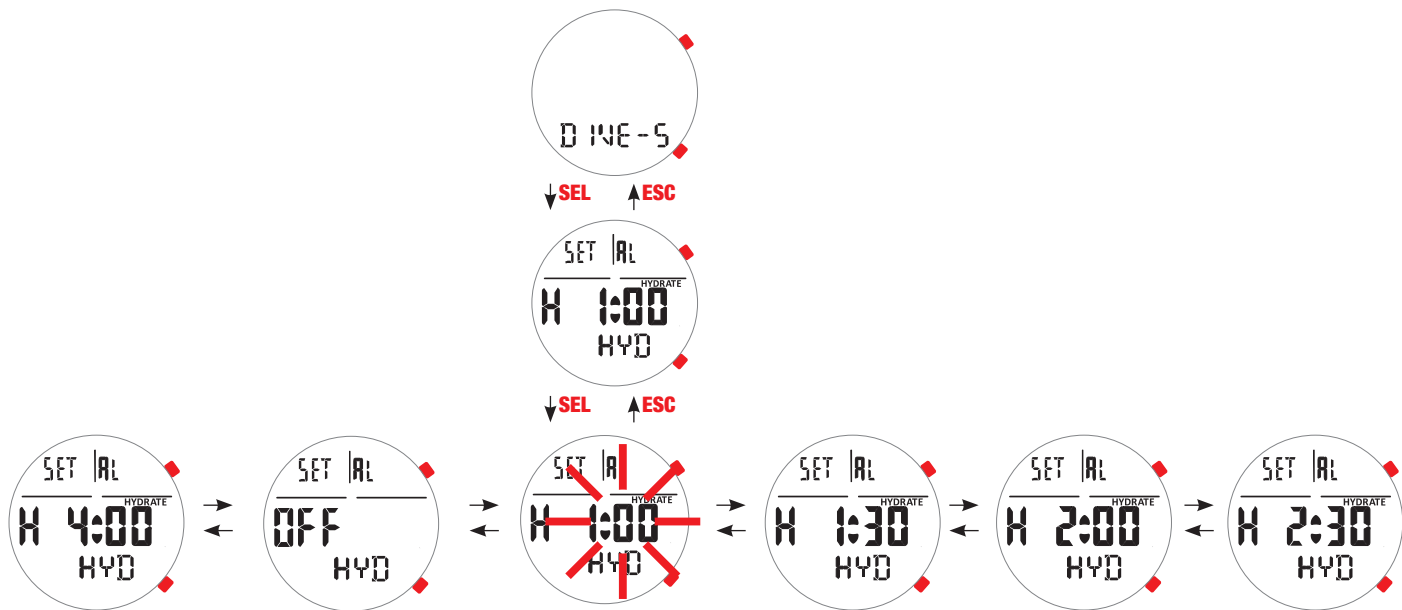
SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に **SEL** を押して確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

水分補給アラーム (HYD)

この機能は、一定時間後に水を補給するようにフリーダイバーに警告を与えます。アラームは、30分の単位で1hから4h時間まで設定できます。フリーダイビング活動の開始から計時します。

設定時間を超えると、NEPTOはピープ音を3回鳴らしてダイバーに潜水時間が経過したことを警告し、画面の時間アイコンとHYDRATEアイコンが点滅し始めます。この2つのアイコンのいずれかを短押ししてオフにすると、計時を再開します。

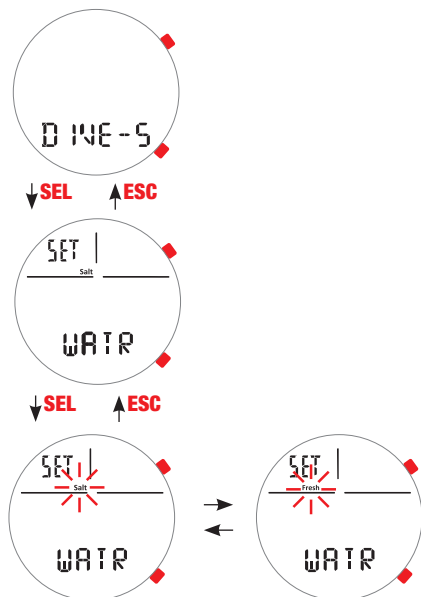


SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に**SEL**を押しして確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

水の塩分設定 (WATR)

この機能を利用して、水の塩分濃度に応じて深度測定値を調整することができます。**塩水**なら「塩水」、**淡水**なら「淡水」に設定します。



SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に **SEL** を押して確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

ログサンプリング時間の設定 (LOG.SAM)

この機能は、外部USBまたはBluetoothインターフェースを使用してダイビングデータをダウンロードする場合に便利です。

「ログサンプリング時間の設定」機能を使用して、ダイビング活動のサンプリング時間を選択できます。

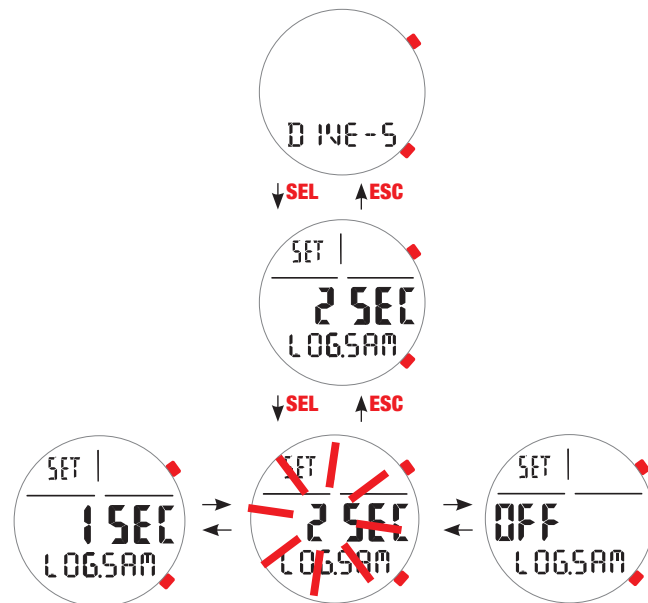
サンプリング時間を長く設定すると、画像が鮮明になりませんが、より多くのダイビングセッションを保存できます。サンプリング時間を短く設定すると、画質は鮮明になりますが、表示できるダイビングセッションは少なくなります。サンプリング時間は、2秒、1秒、または0.5秒に設定できます。

2秒ごとにサンプリングするように設定すると、最大32時間のダイビング活動を保存できます。

1秒ごとにサンプリングするように設定すると、最大16時間のダイビング活動を保存できます。

0.5秒ごとにサンプリングするように設定すると、最大8時間のダイビング活動を保存できます。

サンプリング時間は、さまざまなセッションに応じて割り当てることができます。外部インターフェースを使用しないユーザーは、「サンプリング時間」をオフに設定できます。このようにして、NEPTOログは最大90回のフリーダイビングセッションのデータを表示できます。



SEL ボタンを押し、この機能に入り、上▲/下▼ボタンを押し、希望の深さを設定し、最後に **SEL** を押して確認します。

ESC を押し、この機能を終了します。

時間設定 (TIME-S) 校正時間と日付

この画面で、**SEL**を押してこの機能に入り、時刻、日付、目覚まし時計を校正します。必要に応じて、2番目のタイムゾーンを校正できます。

上▲/下▼ボタンを押し、次の画面情報をスクロールします

AL. オン/オフ(毎日のアラーム)- 24時間制/ 12時間制- 時刻 - 分 - 日-月/月-日
 (日-月または月-日を表示する)- 日 - 月 - 年 T2 (2回目の時間) オン/オフ。

目覚まし時計の設定:

「AL.オフ」画面で**SEL**を押します。表示画面に「オフ」が点滅します。

「上▲/下▼」ボタンを押し「オン」に切り替え、**SEL**を押して確認します。

「上▲/下▼」ボタンを押し時刻または分に移動し、選択された単位は点滅します。

SELを押し、「上▲/下▼」ボタンを押しパラメーターを変更します。

確認提示音が聞こえるまで**SEL**を押して確認します。

ESCを押してこの機能を終了します。

日付/時刻設定

「AL.オフ」画面で、変更したい単位が点滅し始めるまで「上▲/下▼」ボタンを押します。

SELを押してそれぞれの単位を確認し、「上▲/下▼」ボタンを押し値を変更します。

SELを押して確認します。

ESCを押してこの機能を終了します。

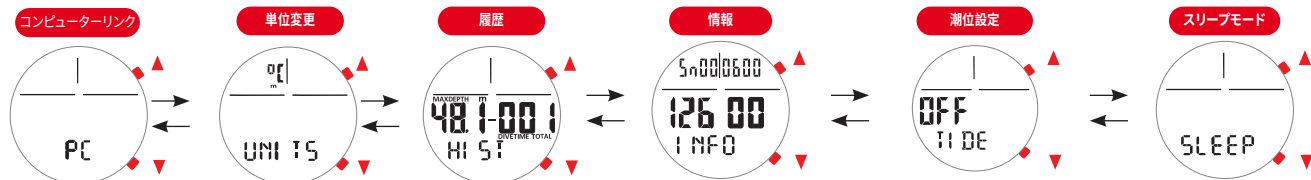
2回目のW(世界)時間

T2画面で**SEL**を押し、表示画面に「オフ」が点滅します。

上▲/下▼ボタンを押し、タイムゾーンを増減し、30分の単位で設定できます。

SELを押して確認し、**ESC**を押してこの機能を終了します。

システム-システムメニュー



システムモードでは、MacまたはPCにデータをダウンロードしたり、システム設定を変更したり、デバイスをリセットしたりできます。「システム」画面で、**SEL**を押して、コンピューターリンク、単位変更、履歴、情報、潮位設定、睡眠モードなどの機能に入ります。

PC接続——PC/MACインターフェー (USB)

NEPTOは、次の仕様のノートパソコンに接続できます。

-オペレーティングシステム:Windows/Mac。

以下の手順に従って、2台のコンピューターを接続してください。

- MacまたはPCにUCI (水中コンピューターインターフェース) ソフトウェアをインストールします。
- CRESSIハードウェアインターフェースをサイトで利用可能なPC/MACのUSBポートに接続します。
- システムメニューの**SEL**を押し、NEPTOのPC機能をアクセスします。
- インターフェースをNEPTOに配置し、次のようにウィンドウにPCの文字が表示されていることを確認します。

コンピューターリンク——ANDROID/iOSインターフェース (Bluetooth)

NEPTOは、次の仕様のモバイルデバイスに接続できます。

-オペレーティングシステム:iOS/Android。

以下の手順に従って、2台のコンピューターを接続してください。

- CRESSIソフトウェアをアプリケーションソフトウェアストア (iOS)、ゲームストア (Android)、またはアプリケーションライブラリ (Android) からインストールします。
 - システムメニューの**SEL**を押し、NEPTOのPC機能をアクセスします。
 - インターフェースをNEPTOに配置し、次のようにウィンドウにPCの文字が表示されていることを確認します。
- 次に、指示に従って、ダイビングデータなど、NEPTOに保存されているすべてのデータをダウンロードし、それにより、専用のアプリケーションからデータを見ることができます。



www.cressi.com



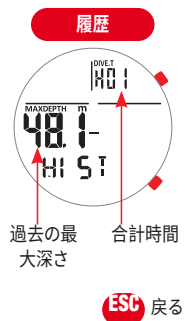
単位——メートル法/インペリアル測定単位を設定

NEPTOダイブコンピューターは、メートル単位（深さはメートル、温度は°Cで表示する）またはインペリアル単位（フィートと°F）を使用して計算できます。測定単位を変更するには、確認提示音が聞こえるまで単位画面で **SEL** を押します。測定値の設定を確認し、**ESC** を押してこの機能を終了します。



履歴 (HIST) ——ダイビング履歴

HIST画面にはダイビング履歴が表示され、リセットすることはできません。最初の行は、ダイビングに費やされた合計時間Hxxxを示しています。2行目は、ダイブコンピューターの使用中に到達した最大深度を示しています。



INFO——ダイビング履歴メモリー

INFO画面にシステム情報を表示します。

最初の行にはシリアル番号Sn xxxxxを表示します

2行目にはファームウェアのバージョンxxxおよびユーザーのバッテリー交換回数を表示します

ダイブコンピューターの工場出荷時には、バッテリー交換回数のカウンターは00に設定します。



TIDE (潮位表示)

TIDE画面では、波型のアイコン (合計4レベル) で潮位を示します。

1つの波は干潮を表し、4つの波は満潮を表します。

潮位の表示機能を有効にすると、主画面とダイビング画面にこのアイコンが表示されます。

TIDE画面には、潮位が上昇▲しているか下降▼しているかも表示されます。

潮位表示装置の設定:

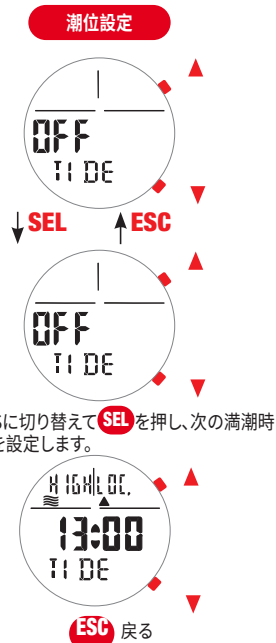
TIDE画面で、**SEL**を押すと、

表示画面で「オフ」が点滅します。

「上▲/下▼」ボタンを「オン」に移動し、**SEL**を押して潮位表示の設定に入ります。

「上▲/下▼」ボタンを押して次の満潮の時間を設定し(時間と分)、**SEL**を押して確認します。

ESCを押してTIDE画面を終了します。



省電力モード(スリープ)

CRESSIのNEPTOは、省電力モードがあります、このモードは、ユーザーがダイブコンピューターを長時間使用しない場合に非常に役立ちます。

省電力モードでは、表示画面と圧力センサーが無効になり、バッテリーの耐用年数が大幅に延ばすことができます。

省電力モードを有効にするには、省電力モードを有効にするには、「スリープ」画面で上▲/下▼ボタンを押してください。

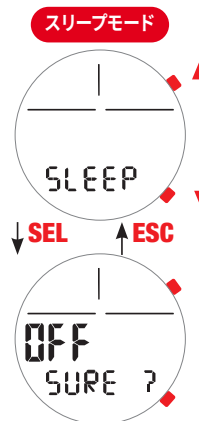
表示画面に「NO」が点滅し、「NO」の下に「SURE」が同時に表示されます。

上▲/下▼ボタンを押し、「NO」から「YES」に移動し、**SEL**を5秒長押しします。5からカウントダウンします。カウントがゼロになると、表示画面がオフになります。

スリープモードを終了するには、2つのボタンのいずれかを短く押します。

注:スリープモードでも、CRESSIのNEPTOのダイブコンピューターは正常に機能できます。

警告:NEPTOがスリープモードに設定されているときは、フリーダイビングを開始しないでください。



ユーザーがダイブコンピューターを使用しないとき、スリープモードは省電力の目的を達成することができます。

YESに切り替え、**SEL**を押してダイブコンピューターをスリープモードに設定するか、**ESC**を押して終了します

! 水に入る前にスリープモードを終了してください。

プレダイビングモード(フリー)

CRESSIのNEPTOのダイブコンピューターは、20秒ごとに圧力を検査するため、いつでもダイビングの準備ができています。ただしダイビングを開始する前に、「プレダイビングモード」に入ることを強くお勧めします。この場合、ダイブコンピューターは秒ごとに2回圧力を読み取り、すぐにダイビングの準備ができます。「プレダイビング」画面には、次の情報が表示されます。



ダイビング中

ダイバーが1.2メートルの深さを通過するとき、CRESSIのNEPTOは、ダイビング監視モードに入り、次の情報を表示します。

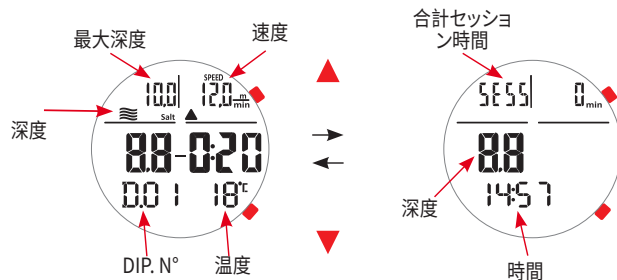
- 現在の最大潜水深度
- 瞬時速度
- 瞬時深さ
- 潜水時間
- 現在の潜水回数
- 水温

上▲/下▼ボタンを押して第2ページに入り、次の情報を表示します。

- 潜水+水面での滞留時間
- このセッションで到達した最大深度
- 現在の時間

警告: 認定ダイバーのみがこの機器を使用できます。ダイブコンピューターは適切なダイビングトレーニングを代替することはできません。フリーダイビングの安全を保証するには、十分なトレーニングが必要であることを忘れてください。

△危険: ダイブコンピューターでは失神やTARAVANAの出現を防ぐことはできません。ダイブコンピューターの唯一の機能は、潜水時間と水面滞留時間、深度、およびこれらのデータ間の関係を表示することです。このデバイスがダイバーに提供する情報はデータのみであり、人間の審査、処理により、これらのデータは安全情報になることができます。したがって、しっかりとした包括的な理論準備を行うことをお勧めします。

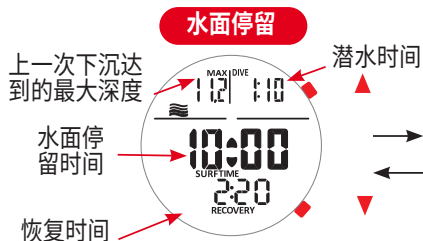


水面に滞留/潜水後

水面に戻った後、ダイブコンピューターは水面時間を入力します。水面モードには5ページがあり、上▲/下▼ボタンを押すことでこれらのページを見ることができます。

ホームページには、次の情報が表示されます。

- 前回のダイビングで到達した最大深度
- 前回の潜水時間
- 水面滞留時間 (分と秒で表示)
- 現在のセッション中の総潜水回数
- 現在の温度



ページ2には次の情報が表示されます。

- 今回のセッションの合計時間 (水面滞留時間 + 潜水時間)
- セッション期間中のログ記録の最大深度
- 現在のセッション中の総潜水回数
- 会話期間のログ記録の最低温度

ページ3には次の情報が表示されます:

- 潜水時間と水面滞留時間の比
- 現在の時間

ページ四 (ログ) **SEL** を押し、上▲/下▼ ボタンを押してこのセッションの潜水データーを表示します。

ESC を押して「水面に滞留/ログ」機能を終了します。

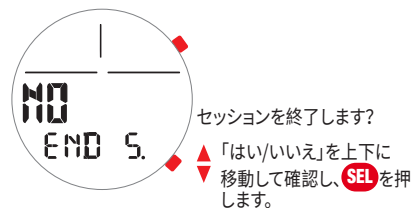
ページ五 (設定) このセッションでは、「ダイビング設定」メニューを提供し、水面滞留時間アラーム (SURF-T)、深度アラーム (DEPTH AL1、AL2、AL3、AL4、AL5)、潜水時間アラーム (DIVE-T)、深度間隔アラーム (STEP) などのアラームを設定できます。

関連する設定については、「ダイビング-設定」を参照してください。

「フリーダイビング」を終了します。

ESC を押して画面を終了します。

上▲/下▼ ボタンを押して画面で「YES」を読み取ってから確認し、**SEL** を押しします。



注: 水面で1時間滞留すると、このセッションは自動的に終了します。

注: 「フライ禁止」アイコンが次の24時間以内に表示されます。このアイコンが表示されたら、フライと高空旅行を避ける必要があります。

警告: NEPTOダイブコンピューターは娯楽目的のみであり、プロのダイビング活動には使用できません、プロのダイビング活動を実施するには十分なトレーニングが必要です。

警告: フリーダイビング活動後、NEPTOダイブコンピューターは、24時間以内にフライしないことをお勧めします。

注: 工場出荷時、製造メーカーはNEPTOを「リリースモード (MODE-S)」に設定しています。

注: 深度表示装置は、0 - 120 mを示すことができます。

視界が悪いときにこのダイブコンピューターを使用する方法

ダイビング中に光が足りない原因でダイバーが表示画面のデータを読み取ることが困難な場合、ダイバーは「照明」ボタンを押し、バックライト機能をオンにすることができます。表示画面のバックライトは数秒間で点灯し、自動的にオフになります。バックライトが点灯すると、表示画面に斑点が表示されます。この斑点は欠陥ではありません。コントラストの高いディスプレイを使用することで発生します。

メンテナンスと保守

CRESSIのNEPTOは、過酷な条件下でのダイビング活動で頻繁に使用されるように慎重に設計および製造されています。これは高精度の機器であり、適切に保守する必要があります。強い打撃を避け、過熱を防ぎ、使用後はきれいに洗い流し、慎重に乾燥し、湿った場所に置かないでください。重型機器 (水タンクなど) との接触を避けてください。

警告: ダイブコンピューターが溶剤または化学薬品との接触を避けてください。ダイブコンピューターを乾燥するために圧縮空気を使用しないでください。ボタンに対しては特別な保守を実施する必要がない。ダイブコンピューターの潤滑のためにオイルやスプレーをしないでください。

注: バッテリーを交換する際は、ケースを確認してください。湿気の徴候が見られる場合は、認定サービスセンターに連絡して機器を検査してください。運転中に異常が発見した場合は、このデバイスを使用して潜水せず、認定のCRESSI販売店に点検を依頼してください。

バッテリー交換

ダイブコンピューターの表示画面に「バッテリー不足」の記号が表示されたら、バッテリーを交換する必要があります。

NEPTOが「バッテリー安定」アイコンを表示する場合、すべての機能を実行できます。ただし、寒い場所でダイブコンピューターを使用する場合は、できるだけ早く電池を交換することをお勧めします。



バッテリー不足
(すぐに電源を交換する必要があります)

表示画面のバッテリーアイコンが点滅し始めると、安全のために、ダイビング機能が無効になります。



バッテリーを交換する必要があります
(ダイビング機能が無効になります)

警告: バッテリーを交換すると、フライ禁止、時刻と日付に関するすべてのデータがなくなります。ダイブコンピューターのログが正しいことを確保するため、時刻と日付をリセットしてください。バッテリーを交換すると、すべての設定がユーザーが設定した最後の値に戻ります。時刻と日付をリセットする必要があります。バッテリーを交換するには、ドライバーを使用してデバイス背面カバーにある2本のネジを緩んでください。カバーを取り外し、バッテリーとバッテリー収納部を確認してください。漏れによる腐食の徴候がある場合は、認定されたCRESSIセンターに連絡して徹底的な保守を依頼してください。異常がない場合は、ダイブコンピューターを握ってその正面を下向きにして、バッテリー収納部からバッテリーを取り出してください。正極と負極が正しいかどうかを確認しながら、(正極と負極が間違っていると、デバイスが損傷する可能性があります)、バッテリーを交換してください。カバーをかける前に、バッテリー収納部が完全に洗浄されているかどうかを確認し、バッテリー収納部のシールリングにシリコングリースを塗布してください。

注: バッテリーカバーを締めすぎないでください! カバーを締めすぎても密封効果が良くなりません。逆に、カバーにひびが入ったり、将来の分解が困難になる場合があります。圧力センサーに触れたり、掃除したりしないでください。すべての故障は保証の対象外です。

注: デバイスが防水できることを確保してください!

警告: バッテリーの不適切な交換による故障または水の浸透により、保証が無効になる場合があります。

アルゴリズム: CRESSI TARAVANA

サンプリング、深さ、時間、温度。

深さセンサー:

- 塩水/淡水の校正 (淡水の示された深さは、塩水の示された深さより3%低い)

- 測定範囲: 0 - 120m (0 ft. - 393 ft.), 秒ごとに1回測定します。

- 精度: +/- 1% (T 20°C)

- 読み取り解像度: 10 cm (0 ~ 100 m) / 1 m (100 ~ 120 m) / 1 ft (0 ~ 316 ft)

- データ収集頻度: 水面に滞留するときには、20秒ごとに1回収集し、ダイビングの時に0.5秒ごとに1回収集します。

温度計:

- 解像度: 1°C / 1°F

- 測定範囲: -5°C +40°C

- 精度: +/- 2°C / 10分、温度変化

腕時計:

- 精度: 毎月平均 +/- 30秒

- 24時間表示

バッテリー:

CR 2450 3Vバッテリー

保証

CRESSI有限公司は、CRESSIの水中ダイブコンピューターおよび関連するアクセサリーの保証を提供します。

重要なお知らせ: この保証条項は、国の適用法によって消費者に消費財の販売に関連する法的権利を授与することを制限するものではありません。

CRESSIは、CRESSIの水中ダイブコンピューターおよび関連する部品 (製品) を購入するユーザーに限定的品質保証を提供します。保証期間中、CRESSIまたはCRESSIの認定サービスセンターは、限定的品質保証の関連規定に従い、独自の判断で製品を修理または交換し、材料、設計または製造上の欠陥を排除します。

限定的品質保証は、製品を購入する国/地域でのみ有効です、ただし、前提として、CRESSIがその国/地域での製品の販売を許可している必要があります。EU加盟国のいずれか、またはアイスランド、ノルウェー、スイス、トルコで製品を購入した場合、またはCRESSIが最初にこれらの国のいずれかで製品を販売する計画がある場合、限定的品質保証は、これらの国で有効です。

製品には、特定の国家で使用される材料を含む原因で、この保証条項で提供するサービスを制限する可能性があります。

欧州連合に加盟していない国 (アイスランド、ノルウェー、スイス、トルコを除く) の場合、購入者がサービス料金を支払うか、CRESSIまたはCRESSIの認定サービスセンターによって運賃を立て替えることにより、製品の購入国/地域以外の国/地域で保証条件で規定したサービスを楽しむことができます。この場合、すべてのスペアパーツは無料で提供されます。

保証期間

保証期間は、最初の購入者の小売購入日から計算します。

この製品は、複数のコンポーネントから構成され、各コンポーネントの保証期間は異なります。特に重要なのは、限定的品質保証は、次の期間で有効です。

(A) ダイビングコンピューターの場合、保証期間は2年です。

(B) 消費品および付属品（ベルト、ベルトバックルなどを含む）の保証期間は1年です（元のダイブコンピューターの部品または別途購入した付属品）

国の適用法で許可されている範囲内で、CRESSIの許可を得て製品を転売、修理または交換後、いかなる方法で保証期間を延長、再計算または変更してはなりません。ただし、保証期間中に修理または交換された部品、または交換された製品は、元の保証期間の残りの期間内、または修理、交換の日から3か月以内に保証サービス（より長い期間が優先されます）を利用することができます。

保証サービスの利用方法

限定的保証に基づいてクレームを提出する場合は、CRESSIの認定販売店に連絡して、クレームの提出方法を確認してください。この情報には、製品保証の申請方法を記載されています。

CRESSI認定販売店に返品したい場合は、送料を事前に支払ってください。

限定的品質保証に基づいて提出されたクレームが有効かどうかは、欠陥が発見されてから合理的な時間内（ただし、保証期間を超え手はならない）に、疑わしい欠陥をCRESSIまたはCRESSI認定サービスセンターに通知したかどうかによって決めます。

限定的品質保証によると、すべてのクレームには、購入者の名前と住所、販売店の名前と住所、購入日と購入場所、および製品の種類を明確に記載した購入証明を含める必要があります。

保証期間中の保守要件については、CRESSIまたはCRESSI認定サービスセンターが独自の判断に基づいて無料でサービスを提供し、合理的な時間内に製品を修理または交換します。

製品が限定的品質保証条件と矛盾していると判明した場合、CRESSIまたはCRESSIの認定サービスセンターは、サービスおよび/または保守料金を請求する権利を留保します。

その他の重要事項

製品を修理または交換するときに、保存されているデータや内容が失われる可能性があります。内容、データの損失や減失が発生した場合、CRESSIまたはCRESSI認定サービスセンターは一切の責任を負いません。

CRESSIは、製品に保存されている重要な内容、データをバックアップするか、書面によって記録することをお勧めします。

交換後、元の製品または製品の一部がCRESSIの資産になります。返金が得られた場合、異常のある製品は、CRESSIおよび/またはCRESSI認定サービスセンターの資産となるため、CRESSI認定サービスセンターに返品する必要があります。

製品を修理または交換する場合、CRESSIまたはCRESSI認定サービスセンターは、新しいまたは交換された製品、部品を使用できます。

備考



Via G. Adamoli, 501 - 16165ジェノヴァーイタリア
電話:+39 010 830.79.1 Fax:+39 010 830.79.220
メールアドレス:info@cressi-sub.it
Webサイト:www.cressi.com